

情報コーナー

◆第53回日立市美術展覧会

とき 平成29年9月16日(土)～24日(日)
10:00～17:00
※最終日24日(日)は16:00まで
ところ 日立シビックセンター、マーブルホール
写真、日本画、彫刻、工芸、デザイン、書道、
洋画の展示を行います。

入場無料

◆第27回ひたち秋祭り～郷土芸能大祭

とき 平成29年10月7日(土)13:00～
8日(日)11:00～
ところ 日立シビックセンター新都市広場ほか
全国各地からお招きする郷土芸能を伝承する団体や青少年の競演を堪能できる日立市の秋の一大風物詩です。

入場無料

第15回
ひたち国際文化まつり
開催決定！！

今年も国際交流の輪を広げていくために、
日立市内の国際交流団体が集まり、
おまつりを開催します。
ぜひこのイベントに参加して、
新しい世界を広げてください。

とき 平成29年11月11日(土)
ところ 多賀市民プラザ
入場無料

※詳細は決まり次第、HP・市報などお知らせします。

関連団体のイベント・活動を紹介するコーナー (2017年8月～12月) 一般参加可能は★印

主催	タイトル	日時	場所	問い合わせ先
フレンドリー あんず	外国人のための生け花クラブ	毎月1回 第2または第3水曜日 10:00～12:00	教育プラザ (国際交流サロン)	0294-21-4150(福地)
	日本語教室	毎週火曜日 19:00～20:45 金曜日 14:00～16:00	(火)女性センター (金)教育プラザ	0294-35-3989(高坂) 0294-24-7261(黒澤)
	ET会(人気のある和食)	9月予定	女性センター	0294-35-1151(今野)
	女性センター祭り出店 "アジアのクラフト販売"★	10月21日(土)	女性センター	0294-21-4150(福地)
	ET会(リンゴ狩り)	11月予定	未定	0294-35-1151(今野)
	年忘れ会★	12月18日(日)	会瀬交流センター	0294-21-4150(福地)
国際交流 ボランティアネット ワークさくら	日本語教室	毎週木曜日 10:00 土曜日 10:00	(木)教育プラザ (土)女性センター	0294-34-6257(臼井)
日立ユネスコ協会	世界の料理教室★	10月22日(日) もしくは29日(日)	会瀬交流センター	0294-35-6034(藤原)

活動記録 (2017.4.1～2017.7.31)

編集後記

- ◆活動推進部会(定例会)
 - ◆記念事業ワーキングチーム打合せ
4/21(ワーキングチームのみ)、6/16、7/21
- <平成29年度会員149人
活動推進部会32人、ワーキングチーム11人>
※メンバー重複有

現在、私たちを取り巻く状況は、地球規模で物事を考えるグローバル化時代になっています。ところが、一部の国が自国の利益のみを考える方向にあります。自国の利益は大切な事ですが、同時にグローバル化も大切です。このような時に民による国際交流は有効な活動です。私たちの会も微力ではありますが、会員一人ひとりが他国の人を互いに思いやり平和な地球にしたいものです。(菊池記)

広報紙「ひたちとアジア」は日立シビックセンターホームページでもご覧になれます。<http://www.civic.jp>
連絡・問い合わせ・感想・入会希望等は、日立シビックセンター内「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」事務局まで
TEL 0294(24)7711 FAX 0294(24)7970 E-Mail salon@civic.jp

ひたちとアジア

第56号

2017年(平成29年)7月

発行：ひたちとアジアの文化交流をすすめる会 広報部会

—講演会 開催—

「多民族、多言語、多宗教のモザイク社会、マレーシア」



マレーシアの国旗

講師 上原亜季 (ムティアラ・アーツ・プロダクション代表)

5月20日(土)ひたちとアジアの文化交流をすすめる会の総会及び昼食会終了後、ムティアラ・アーツ・プロダクション代表の上原亜季氏による「多民族、多言語、多宗教のモザイク社会、マレーシア」と題した講演会が開催されました。多くの市民が参加した会場に、講師が色鮮やかな民族衣装で登壇され、その衣装の話から講演が始まり、1年間マレーシアの高校に留学し、そ

の後再渡航してマレーシアの大学院で伝統芸能の研究を行なった話がありました。多民族国家マレーシアについて資料を使って紹介すると共に、講師が用意された、農閑期に行われていたという影絵芝居ワヤンクリの実際の影絵人形を見せてもらいながら、大変興味ある楽しい話をしていただき、質問時間を含め約80分の講演でした。講演はあっという間に過ぎてしまい、質問時間では沢山の質問がありましたが、時間の関係で残念ながら全ての回答はできず終了となりました。講演内容の概要は次の通りです。

マレーシアの基本情報は、面積33万km²(日本の0.9倍)、人口約3,208万人(日本1.27億人)、首都

は、クアラルンプールです。言語は、マレー語(公用語)、英語、中国語、タミール語など複数言語を日常的に使用しており、ビジネスの共通言語としては英語を使用しています。英語能力指数では、日本は世界で

第26位ですが、マレーシアは第12位です。宗教に関しては、イスラム教のモスク、ヒンドゥー教の寺院、キリスト教の教会などが紹介されました。民族構成

については、プミプトラ(マレー系+先住民)68.6%、中華系23.4%、インド系7%、他1%であり、それぞれの民族の多様な結婚式やその儀式、祭りについて紹介されました。

食文化については、食を知るには市場が一番とグルメ大国マレーシアの沢山の食材や料理が紹介されました。



写真は上から会場風景、民族衣装を着た講師、影絵人形を見る参加者、影絵芝居披露

平成29年度 総会開催

—3カ年実施期間第7期始まる—

平成29年度ひたちとアジアの文化交流をすすめる会総会は、日立シビックセンター503号室において5月20日(土)午前10時30分から開催されました。

総会では、まず前年度の事業報告が行われ承認されました。引き続き任期満了に伴う第7期(3年間)の役員改選が行われ、会長・副会長・相談役ともに再任されました。次に、会則の一部改正が審議され3条の活動対象を「アジア諸国…」から「主にアジア諸国…」、外国人への紹介対象を「日本の文化…」から「地域や日本の文化…」とし活動対象を広げることになりました。

事業計画を簡単に下記にまとめます。

- ・活動趣旨については、外国人との交流の活性化やネットワーク作りに力を注ぐことが追記されました。
- ・ひたち国際文化まつりは、日立シビックセンターが改修工事のため本年度は使用できないため、11月11日(土)に多賀市民プラザにて実施予定です。
- ・20周年記念事業として会の紹介パンフレット作成と来年度に行う記念イベントや記念展の計画取りまとめをワーキングチームにて行います。
- ・テーマ国設定は議論の結果、29・30年度は設定せず、20周年事業が終了後、設定することになりました。



総会終了後に行われた昼食交流会

総会終了後、講演会の講師上原亜季先生を囲んで昼食会を行いました。20人くらいの参加により日立市大みか町にあるマレーシア料理店のハラル料理をいただきました。料理は鶏肉の照り焼きと蒸し焼き、海老や魚のフライなど日本人に馴染み深いものでした。マレーシアのフライなどにかけるソースは3種あり、赤みがある辛いソース、まったく辛くはないソースなど代わる代わる食し、皆で交流を楽しみながらいただきました。



「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」と、日立市内の国際交流関連団体との交流記録 2017年4月～

◆フレンドリーあんず「日立さくらまつりを楽しむ会」に参加

4/8 午前中は教育プラザ国際交流サロンで昼食会が開かれ、フレンドリーあんずの皆さんの手作り料理をいただき、午後からは日立さくら祭りを見学しました。ユネスコ無形文化遺産の「日立風流物」、各ステージでのイベント、相馬野馬追の武者行列等を見学し、日立国際協議会ブースを訪問しました。参加者は外国人とフレンドリーあんずの皆さん合わせて20人くらいで、外国人との交流も出来て有意義でした。

◆カンボジアフェスティバル見学

5/3 代々木公園イベント広場にて開催された、第3回カンボジアフェスティバルを見学。主催はカンボジア王国大使館・在日カンボジアコミュニティ・在日カンボジア留学生協会など。野外ステージでは、カンボジア王国立舞踊団や影絵芝居スバエク・トムなどが上演されていました。カンボジアの方々を始め、多数の来場者でにぎわっていました。また、21世紀のカンボジアを支援する会のブースを訪問しました。

カンボジア通信

第4シリーズ NO.3

元青年海外協力隊(理数科教師)・現在農業プロジェクト調整員 浅水 伸介

浅水伸介さんは、茨城大学卒業後カンボジアに渡航し、教員養成校の理数科教師として活動し、現在は農業関係のプロジェクトに従事されています。

今回は、カンボジアの加工食品について情報発信いたします。

マンゴー、バナナ、パイナップル、パパイヤ、ジャックフルーツ、ドリアン、カシューナッツ、アーモンドなど、カンボジアでは多くの果物が採れます。常夏の国ですので、これらは放っておいても勝手になるのですが、私は食後に冷蔵庫で冷やしたマンゴーを食べるのが大好きです。最近ドライフルーツに加工して、外国にも多く輸出されるようになりました。カンボジアの農産物は米が主ですが、外国の企業が多く入ってきて、フルーツの加工技術がどんどん発達してきました。特にヨーロッパは、これらのフルーツは貴重なため非常に人気が高いです。ココナッツのジュースは風邪をひいて熱があるときには、水分補給に適していますし、ショウガはのどが痛いときに、煎じて飲んだりもします。ヤシ砂糖はブラウンシュガーと呼ばれており、白い精糖された砂糖に比べて血糖値を急激に上げない、それでいてコーヒーなどに加えれば香ばしい風味も楽しむことができます。

また、カンボジアでは胡椒が採れるので、地元の市場に行けば実の胡椒が100グラム当たり数十円で買うことができます。贈答用にはきちんと選定された胡椒がもっと高い値段で売られているのですが、実のま

まの胡椒をふんだんに使った海鮮野菜炒めは、胡椒の取れない国の我々からしたら、本当に贅沢な料理です。

カンボジアの東北部、ベトナムやラオスの国境地帯に行くと、涼しい気候を活かしてコーヒー栽培が盛んです。種類は日本人に馴染みのあるアラビカ種ではなく、ロブスタ種ですので、初めて飲む方にとっては苦い、濃い、不味いと、口に合わないかもしれません。最近アラビカ種もブレンドされ、焙煎方法も発達し、徐々に外国人の口にも合うように改良されてきました。メイドインカンボジアで、日本の家族や友人に贈っても歓迎されるものが増えてきたのは嬉しいことです。



ハスの実も生のまま「おやつ」として食べます。

◆日立市日中友好協会総会参加

6/3 日立市民会館にて開催された日立市日中友好協会総会に出席しました。参加者は茨城大学工学部中国人留学生を含め30~40人くらいでした。森秀男会長、何佳旭(カ ケイキョク)中国留学生学友会会長の挨拶の後、2016年度活動報告と2017年度活動計画が審議されました。また、会員の田島伸一さんの講演があり「唐山物語 嗚呼 唐山陡河発電所」と題し、日立製作所入社後直に関わった唐山陡河発電所建設と、その後の20世紀最大と言われる唐山大地震にまつわる日中友好体験談を興味深く拝聴しました。

◆こうがく祭見学

6/11 茨城大学工学部にて開催された「2017 こうがく祭」を午前中見学。座談会「市民から見た魅力ある茨城大学工学部」、「講演・模擬授業」、日立市内高校等の吹奏楽演奏、日立市内企業をはじめ各種団体の企画など多彩な内容でした。以前より地域との交流・貢献を意識した内容のように感じました。中国人留学生のブースで水餃子を、マレーシア留学生のブースでケバブサンドイッチを購入し、昼食としました。